

学校における働き方改革の推進 ～子どもたちのために、より効果的な学校教育を目指して～

西東京市教育委員会では、「教師のこれまでの働き方を見直し、教師が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになる。」という働き方改革の理念を関係者で共有しながら、学校における働き方改革を進めています。

まち全体の健康を目指す「健康」応援都市の実現に向け、学校教育においても、教員自身が心身の健康、誇りとやりがいをもち、子どもたちの教育活動が充実するよう、学校教育の質の更なる向上を図っていきます。

- 1 スクール・サポート・スタッフの全校への配置拡大 予算額：34,583千円**
2019年度は、これまでの配置効果を踏まえ、全小・中学校に配置します。
※ 2018年度から、小学校3校・中学校1校に配置
配置校では、スクール・サポート・スタッフが、教材等の印刷や物品の準備、小テスト等の採点補助、各種入力作業、配布文書の印刷等、教員をサポートを行い、児童・生徒への個別対応や教材研究等の充実が図れています。
- 2 出退勤管理システムの全校への新規配備 予算額：1,329千円**
2019年度に、出退勤管理システムを全小・中学校に新たに配備します。
本システムは、出勤時や退勤時にICカードをリーダーで読み取り、教員の在校時間を客観的に把握するもので、教員の業務改善につなげます。
- 3 教職員へのストレスチェックの実施 予算額：572千円**
2019年度から、メンタルヘルス不調の未然防止を強化するために、小・中学校に勤務する全ての教員を対象に、ストレスチェックを実施します。
ストレスチェックにより、ストレス状況についての本人の気づきを促しつつ、個々のストレスを低減させるとともに、職場のストレス要因を分析し、職場環境の改善を図ります。

【問い合わせ先】 教育部 教育指導課（TEL：042-438-4075）

資料のポイント

◆スクール・サポート・スタッフ

- 配置校 2018年度 中原小・向台小・上向台小・田無第一中
2019年度 全小学校（18校）・全中学校（9校）
- 配置時間 週5日 1日当たり6時間
- 業務内容 授業で使用する教材等の印刷や物品の準備、教材・資料の整理、小テスト等の採点補助、学校行事・式典等の準備補助、統計情報や校務支援システム等のデータ入力、名簿の作成補助、電話対応、来客受付、家庭への配付文書の印刷・仕分け 等
※従事する業務内容は、配置校により異なる。

◆出退勤管理システム

- 配備校 全小学校（18校）・全中学校（9校）
- 概要
 - ・学校配備のコンピュータに、ソフトウェアをインストールし、カードリーダーを接続する。
 - ・全教員に個別の認識情報を書き込んだICカードを貸与し、各教員は出退勤時にカードリーダーにタッチする。
 - ・出退勤時刻の一覧が自動的に作成される。
 - ・校長・副校長対象にシステム導入研修を実施する。

◆ストレスチェック

- 背景
 - ・労働安全衛生法により、常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査を実施することが事業者（教育委員会等）に義務づけられている。
 - ・文部科学省では通知により、学校等の規模に関わらず、全ての学校等において適切に実施するように求めている。
- 内容
 - ・心理的な負担の程度を把握するための質問検査
 - ・メンタルヘルス不調者に対する産業医による面接指導